

# 講 義 要 項

授業科目		小児看護学援助論		担当者	内園 知美
区分	単位数	時間数	授 業 形 態		履修年次・前/後
	1 単位	30 時間	講義・演習・動画視聴		2年次・前期・後期
授 業 目 標					
1. 健康障がい子どもと家族に及ぼす影響を理解し、発達段階をふまえ健康障がいに応じた看護を考えることができる。 2. 小児看護に必要な看護技術・臨床判断力を身につけることができる。					
単元名	目 標	内 容	時間	単位	授業方法
1. 病気・障がいをもつ子どもと家族の看護	1. 健康障がい小児と家族に及ぼす影響を発達段階をふまえて理解し、看護を考えることができる。	1. 疾病・障がい子どもと家族に与える影響 1) 病気・障がいに対する子どもの反応 2) 子どもの病気・障がいに対する家族の反応 2. 子どもの健康問題と看護 1) 健康問題をもつ子どもと家族の看護の方向性 2) 子どもの治療・健康管理にかかわる看護 3) 子どもの日常生活にかかわる看護 4) 健康問題をもつ子どもの家族の看護	2		講義 演習 動画視聴
2. 入院中の子どもと家族の看護	1. 入院中の子どもと家族の特徴とその看護を理解できる。	1. 入院環境と看護の役割 2. 入院中の子どもと家族の特徴 3. 入院中の子どもと家族の看護	2		講義
3. 外来における子どもと家族の看護	1. 外来受診が必要な子どもと家族の特徴とその看護を理解できる。	1. 子どもを対象とする外来の特徴と看護の役割 2. 外来の環境 3. 外来受診する子どもと家族の特徴 4. 外来における子どもと家族の看護	2		講義
4. 子どもにおける疾病の経過と看護	1. 各経過期に伴う子どもの身体的・精神的・社会的影響を学び、子どもと家族への看護を理解できる。	1. 慢性期にある子どもと家族の看護 1) 慢性期の特徴 2) 慢性状態が子どもに与える影響 3) 子どもと家族の看護 2. 急性期にある子どもと家族の看護 1) 急性期の特徴 2) 子どもと家族の看護 3. 周術期の子どもと家族の看護 1) 周術期の特徴 2) 子どもと家族の看護 4. 終末期にある子どもと家族の看護 1) 終末期の特徴 2) 子どもの生命・死のとりえ方 3) 子どもと家族の看護 4) 子どもを亡くした家族の看護 5) 終末期における多職種チームアプローチ	6		講義 動画視聴

単元名	目 標	内 容	時間	単位	授業方法
5. 子どものアセスメント	1. 子どもの身体的アセスメントについて理解できる。	1. アセスメントに必要な技術 1) コミュニケーション 2) バイタルサイン 3) 身体測定 2. 身体的アセスメント 1) 一般状態 2) 眼 3) 耳 4) 顔面・鼻・口腔 5) 呼吸 6) 心臓・血管系 7) 腹部 8) 筋・骨格系 9) 神経系 10) 生殖器 11) リンパ系 12) 皮膚・爪・体毛	2		講義 演習 動画視聴
6. 症状を示す子どもの看護	1. 子どもの主な症状のアセスメントと看護について理解できる。	1. 主な症状のアセスメントと看護 1) 不きげん 2) 啼泣 3) 痛み 4) 呼吸困難 5) チアノーゼ 6) ショック 7) 意識障害 8) 痙攣 9) 発熱 10) 嘔吐 11) 下痢 12) 便秘 13) 脱水 14) 浮腫 15) 出血 16) 貧血 17) 発疹 18) 黄疸	3		講義 動画視聴 GW 発表
7. 検査・処置を受ける子どもの看護	1. 検査・処置が子どもに及ぼす影響が理解でき、発達段階に応じた看護を考えることができる。 2. 小児看護の基礎技術を根拠と結びつけて理解し、身につけることができる。	1. 検査・処置総論 1) 子どもにとっての検査・処置体験 2) 看護の実際 (1) プレパレーション・ディストラクション 2. 薬物動態と薬液量の決定 1) 薬物動態 2) 薬液量の決定 3. 検査・処置各論 1) 与薬 2) 輸液管理 3) 抑制 4) 検体採取 5) 罨法 6) 清潔 7) 経管栄養 8) 排泄 9) 呼吸症状の緩和 10) 救命処置	6		講義 演習 動画視聴
8. 小児の臨床判断	1. 小児の特徴をふまえた臨床判断力を身につけることができる。	1. 紙上事例の情報分類と分析 2. タナーの臨床判断モデル ①気づく②解釈する ③反応する④省察 3. リフレクション グループディスカッション 4. 個別性をふまえた計画立案	6		事例展開 GW 発表
		修得試験	1	1	

参 考 文 献 等	1. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ, 小児看護学概論, 小児臨床看護総論, 医学書院. 2. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ, 小児臨床看護各論, 医学書院.
評 価	1. 出席状況、レポート、GW参加状況、受講態度 2. 単位修得試験
備 考	実務経験：看護師としての豊富な知識・経験をもとに授業を行う。